

2022 年 10 月 18 日

株式会社リンクジャパン

九電テクノシステムズ株式会社

九電テクノシステムズ(株)と(株)リンクジャパンは「業務提携契約」を締結しました

— ホーム IoT で住宅の創エネ・蓄エネ・省エネをマネジメントするホームプロシューマ事業で協業 —

九電グループである九電テクノシステムズ株式会社（以下「Q-テクノ」）と IoT スマートホーム専門企業である株式会社リンクジャパン（以下「L J」）は、本日、ホーム IoT で住宅の創エネ¹、蓄エネ²、省エネをマネジメントするホームプロシューマ³事業に関する業務提携契約を締結いたしました。

あらゆる分野でカーボンニュートラルへの取り組みがなされるなか、住宅への太陽光発電設備や蓄電池設備の設置が進み、一般家庭への EV の導入機運も高まり、住宅におけるエネルギーマネジメントは複雑化しています。両社は、Q-テクノのエネルギー分野の技術や知見と、L J の IoT 分野での技術や知見を組み合わせることで、複雑化する住宅のエネルギーマネジメントをホーム IoT で効率化し、カーボンニュートラルな暮らしの実現に貢献してまいります。

また、提携によるシナジー効果を高めることを目的として、Q-テクノは 9 月 30 日付けで L J に出資いたしました。

【九電テクノシステムズ株式会社 概要】

創 立 日	1960 年 7 月 29 日
本 社 所 在 地	〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 4-19-18
役 員	代表取締役社長 小野 利喜（おの としき）
主な事業内容	発電所から需要家に至る電力ネットワークの各分野並びに環境に優しく、持続可能な社会の実現に向けた社会インフラ分野に必要な各種製品・サービスの開発・製造・販売

【株式会社リンクジャパン 概要】

創 立 日	2014 年 8 月 20 日
本 社 所 在 地	〒108-0014 東京都港区芝 4-7-1 西山ビル 6/7F
役 員	代表取締役 CEO 河千泰 進一（かちやす しんいち）
主な事業内容	IoT プラットフォーム事業に関わる全ての製品・サービスの提供。アプリケーション・クラウド・IoT 通信モジュール・LPWA 技術関連製品の開発と提供。ビッグデータと AI 活用を前提としたスマートライフサービス、見守りサービスの開発。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

九電テクノシステムズ(株) ソリューション営業本部 産業営業部

TEL : 092-551-1776

(株)リンクジャパン 村上 知久

TEL : 050-3786-8833

¹ 「創エネ」とは創エネルギーの略称で、太陽光発電などでエネルギーを創り出すことです。

² 「蓄エネ」とは蓄エネルギーの略称で、蓄電池などにエネルギーを貯め必要に応じて使えるようにすることです。

³ 「ホームプロシューマ」とは、ホーム IoT により家の「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」をマネジメントする住宅のことです。ホームプロシューマは九電テクノシステムズ株式会社が商標登録出願中です。

Q-テクノとLJの業務提携内容について

■ ホームプロシューマの必要性と業務提携の目的

日本の住宅における電気を中心とするエネルギーマネジメントは時代とともに変化してきました。1970年代にオイルショックにより家庭の省エネ意識が高まり、2010年代にはFIT（固定価格買取制度）により太陽光発電設備（創エネ）が設置され、2020年代になりFIT切れや脱炭素への意識の高まりで、住宅への蓄電池設備（蓄エネ）が普及し始めています。社会全体でカーボンニュートラルへの取り組みが進むなか、住宅のエネルギーマネジメントは、「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」を同時に行う複雑なものへと変化してきています（図1）。



図1 日本の住宅におけるエネルギーマネジメントの変遷イメージ

このように複雑化する住宅のエネルギーマネジメントを、ホームIoTで効率的に行う住宅をホームプロシューマとよびます（図2）。九電グループのQ-テクノとIoTスマートホーム専門企業のLJは業務提携により住宅（既築、新築とも）のホームプロシューマ化を進め、住宅のエネルギーの自給自足を促進することでカーボンニュートラルな暮らしを実現します。将来的に、ホームIoT経由で電力会社からのデマンドレスポンスの要求にホームプロシューマで対応することなど、電力の安定供給に寄与することを考えています。

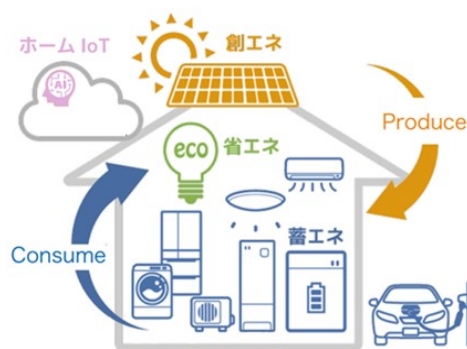


図2 ホームプロシューマのイメージ

■ ホームIoTと住宅用エネルギー設備とのI/F（IoTハブ）の開発・販売

Q-テクノとLJは家庭用蓄電池設備（荏原実業パワー株式会社製）とLJのホームIoT（HomeLink）を接続するIoTハブを開発いたしました（図3）。IoTハブにより、HomeLinkからの蓄電池設備と太陽光発電設備の制御が可能になります。また、HomeLinkのエアコンなどの家電の制御機能を組み合わせることで、HomeLinkから住宅の「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」をコントロールできます。現在、このIoTハブを使い、福岡市と熊本市の戸建住宅でホームプロシューマの実証試験をしています。年内には、Q-テクノ製EV普通充電器をIoTハブでHomeLinkに接続する実証試験を計画しています。今回の業務提携により、LJが開発・製造するIoTハブをQ-テクノが販売をしてまいります。



Q-テクノとLJは、業務提携の第一弾として、ホームプロシューマ事業を展開してまいります。



左から 九電テクノシステムズ 小野社長、リンクジャパン 河千泰 CEO

両社は、Q-テクノのエネルギー分野の技術や知見と、LJのIoT分野での技術や知見を組み合わせることで、複雑化する住宅のエネルギーマネジメントをホームIoTで効率化し、カーボンニュートラルな暮らしの実現に貢献してまいります。